

2023年フクシマ連帯キャラバンに参加して

全港湾東北地方ひたち支部青年女性部
幹事 小野崎 渉

今回初めてフクシマ連帯キャラバン茨城行動に参加しました。私は、Bコースで那珂市役所、常陸太田市役所、大子町役場、常陸大宮市役所、城里町役場、水戸市役所に行き原発再稼働反対について要請書を提出しました。

まず那珂市役所では汚染水の海洋放出や原発再稼働についての質問では何とも言えない当たり障りの無い答えで、自分たちの意思・考えがなく国や県任せで地域住民の人達が聞いたとしても不安になるような返答でした。

太田・大宮市役所では原発から離れているせいか避難経路・避難先までは計画されていましたが海洋放出については海からの距離が離れているので、それほど問題視されていないのか何とも言えない曖昧な答えでした。離れているからといって自分たちは関係ないと思わずに海沿いに住んでいる人達や、漁業で生活をしている人、自分の家族が汚染水を流した食品を食べると思って少しでも良いので考えてもらいたいです。

大子町役場ではUPZ範囲内の対象となる地域はかなり狭く危機感が薄かった様に感じられました。それでも福島第一原発事故の風評被害の影響を受けています。特に高齢者が多い町で地元の特産品などを大切にしていたのでそれらを守る為にも廃炉の声を一緒に上げてもらいたいです。

城里町では原発反対の声が既に上がっているので各自治体にも声掛けを協力してもらい、一歩ずつ原発廃炉を目指して歩いていきたいです。最後に全体で水戸市役所に行き要請書を読んで茨城行動が終わりました。

茨城行動に参加して老朽化した原発が再稼働し事故が起きた際の危険性、生まれ育った場所に住めなくなるなど、住んでいる人たちが被害にあわないようにする為にも原発の無い安心して暮らせる社会になる様に全国へ広げていきたいと思います。